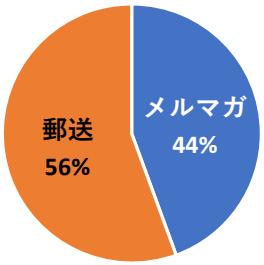
ニセコ町宿泊税の使途に係るWEBアンケートの結果について

1．調査対象：ニセコ町内の宿泊事業者（128社）／回答率 7.03%（９社）
※今回は夏季の課題が中心のため、夏季休業中の事業者を除く
2．実施期間：令和８年10月２日（金）～令和８年10月13日（火）
3．通知方法：メルマガ配信サービス「オレンジメール」及び郵送による通知
4．回答方法：オンラインフォーム（web）

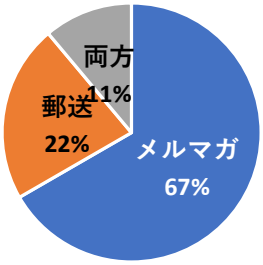
町からの回答は**令和８年11月現在**のものになります。取組状況等により、変更となる場合がありますのでご了承ください。

Q1. アンケートの回答にあたり、メルマガ配信サービス「オレンジメール」または郵送どちらの通知を見て回答しましたか？



メルマガ … ４社
郵　　送 … ５社

Q2. 今後の周知方法について、どの方法で周知を希望しますか。



メルマガ … ６社
郵　　送 … ２社
両　　方 … １社

Q3. 令和８年度のグリーンシーズンを終えて感じた観光課題について

● プロモーション・マーケティング・情報発信について

・ コロナ前、コロナ終了直後と比べてニセコに来ている観光客が減っているように感じる。今年のシルバーウィークは久しぶりにニセコにお客さんが来ていると実感したが、その他は弊社の実績や周辺の情報を聞いたりしても良い状態ではない。お客さんが減っている事もあり、薄利多売の安売りが続いており、地域としては良くない。「ニセコ＝物価が高い、宿泊するのは高い」と今だに外に出ると言われるが、それを逆手にとって世界的なリゾートに春から秋は冬に比べて安く泊まれるような地域としてのアピールをするのもありかと思う。

令和７年度からオウンドメディア「サイコーニセコ」を立ち上げ、ライターさんがニセコ町の様々なところへ訪れ、ニセコ町の魅力（価格帯などの実情も含めて）をWEB上で情報発信しています。

⇒ また、帝国データバンクさんが実施している全国カレーライス物価指数のニセコ町版を作成して町ホームページに掲載しており、ニセコ町は住みやすい町であることも情報発信しているところです。
ただ、今回ご意見いただいたように、逆手に取ったアピールも検討していきたいと思います。

● **交通課題について**

・	空港からのアクセスが悪い（直行バスが無い）ためアクセスが良い札幌や小樽に流れる。また、大都市圏に住む人は車の免許を持っていない人も多く、レンタカーを使えない人にとってはそもそもニセコが選択肢に入ってない。
⇒	広域連携事業に発展するため、関係事業者や北海道等とも協議・連携してアクセス改善を検討していきます。

・	町内各所（高橋牧場、ビュープラザなど）の「点」には観光客入り込みがあったのだと思うが、それらの点と点をつなぐ方法が主に自家用車による移動であり、点と点の間の地区では観光入り込みによるベネフィットを感じにくく、むしろ生活道路の交通量の増加という感覚になっていそう。
⇒	令和７年度から実証事業で夏季周遊バスを運行し、令和８年度は日数を増やし、７月18日～８月23日までは毎日運行し、それ以降はシルバーウイーク終了までの土・日・祝のみ運行を実施しています。また、停留所も町内23か所となっており、極力多くの観光施設に寄れるようにしているが、引き続き利用者の利便性向上と地域事業者への還元に努めていきます。

● **飲食店について**

・	レストランがほとんどOPENしていないので、グループの予約が入った時など、食事の手配が大変だった。旅行で一番楽しみなのは現地の食事。それが無いのがとても残念。
⇒	夏季休業している事業者が一定数いることは認知しています。また、通年営業している事業者においても、物価高騰、高齢化や担い手不足等により苦慮していると推察されるところです。 現在、ニセコ町では「にぎわいづくり起業者等サポート事業」という補助制度を設けており、空き店舗の利活用や事業承継、起業等をして通年で営業する人等に対してハード面の支援をしています。 これにより、担い手不足解消や商店街等の活性化に寄与するものと考えており、今後も継続して本補助制度を実施していく予定です。

● **イベントについて**

・	ニセコクラシックが世界選手権の予選会ではなくなるので、来年から規模縮小になるのではと危惧している。
⇒	今年度に開催された世界大会と比較すると、残念ながら危惧されている通り、規模は縮小（元どおり）となると推測します。

● **説明資料・宿泊税の使途について**

・	何に宿泊税が使われているのか伝わりにくく、お客さまへ伝えにくい。また、資料を読んでもどんな効果があったのかわからない。例えば、周遊バスを利用する方がどれくらいであったとかなど具体的な内容がないので、今後の課題などを絞り込めないと思う。交通や夏の集客など、課題は以前と変わらないと思うが、バラマキ感があり、まず何に取り組んでいきたいのかが見えてこない。
⇒	具体的な実績の掲載がなく申し訳ありません。今後は事業実施による実績や効果がわかる資料をお示しできるようにするとともに、本当に必要な事業を絞り込み、そこへの宿泊税充当を検討します。

● **統計データについて**

・	地域全体の観光客が減少していると聞くが、実際にどの程度減少しているのか分からない。地域別・月別の宿泊者数や稼働率などのデータに基づき、観光需要の現状を把握してほしい。
⇒	毎年、ニセコ町内の宿泊事業者等に入込調査へご協力いただき、その結果を町ホームページに公表しています。また、この入込調査は各自治体でも行っており、北海道が集約してホームページにて公表されています。ほかにも、北海道運輸局でも道内の地域ごとの入込推計データを公表しています。これらのデータに基づき、観光需要の現状を把握しています。

● **夏季の誘客、受入体制強化について**

・	小規模宿泊施設の競争環境について、グリーンシーズンには、冬季に高価格帯となる大規模ホテルも比較的手頃な価格で宿泊できるため、小規模宿泊施設は価格やサービス面で差別化することが難しい。小規模施設だけで大規模施設に対抗するには限界がある。
・	グリーンシーズンの集客について、地域全体の観光需要を増やすとともに、小規模宿泊施設にも集客効果が届く施策を検討してほしい。
⇒	今後の参考とさせていただきます。

Q4. 令和８年度充当事業見込みについて

● **交通課題について**

・	周遊バスが一部の路線しか走っていないので、宿泊税を払う側として何も恩恵がないのが現実だ。
・	周遊バスを運行する為の人材不足もあると思うが、人材が不足しているならバスを２台連結して運行するなど考えてみてはどうか。
⇒	今後の参考とさせていただきます。

● **宿泊税の使途について**

・	どの施設も人材不足が一番の悩みで、仮に人材を確保しても家はないし、あったとしても家賃が高い。家賃補助に宿泊税の一部を使えないか。
⇒	今後の参考とさせていただきます。

● **説明資料について**

・	項目に対する費用はわかったが、具体的にどんな事に使われたのかがわからなかった。
・	宿泊税活用事業の各事業について、実施内容だけでなく、目標に対する実績や地域への効果を検証し、その結果を次年度以降の予算や事業内容の改善に反映してほしい。
⇒	具体的な実績の掲載がなく申し訳ありません。また、今後は事業実施による実績や効果がわかる資料をお示しできるように努めます。

・	資料１は（Ｒ８当初予算）の資料だが、（見込み）の資料と同一のものか。
⇒	同一のものですが、資料１は分類ごとの事業を簡単に説明しており、資料２で金額をお示ししています。

● **プロモーション・マーケティング・情報発信について**

・	情報発信媒体「サイコーニセコ」について、主な対象者や目的、目指す成果が分かりにくいので、閲覧数などの実績に加え、実際の来訪や予約、地域内消費につながっているかも含め、目標と成果を分かりやすく示してほしい。
⇒	サイコーニセコは、札幌圏を中心に東京圏からのプレビューも一定数あるため、観光でのPR効果が期待されます。それを踏まえて、目標と成果の提示について関係機関に共有し検討します。

● **Wi-Fi導入調査・実証事業について**

・	Wi-Fi導入調査・実証事業が4,000万円という大きな予算が計上されているが、具体的にどのような事業を実施するのか予算資料からは十分に把握できない。４大携帯電話キャリアの通信環境の改善や災害時に利用できるWi-Fiなども含まれると聞いているが、それぞれの目的や実施内容、予算の内訳、期待される効果を具体的に説明してほしい。
⇒	今年度実施の調査は、ニセコ町内の各スキー場エリアにおいて、国内外から訪れる観光客がリフト運行情報、交通情報、飲食店の予約等に通信環境を必要としているため、観光客の利用動線、滞留場所、既存通信環境、電波状況、設置条件、運用方法、概算事業費等を調査・検討することを目的としています。 また、今回の調査結果を踏まえ、電波の弱い地点等にWi-Fi設備やスターリンク設備の設置、４大キャリアへの改善要望等を行うことで通信環境を整備し、観光客の利便性向上を図りたいと考えています。 予算内訳は、主に設計業務が約450万円、調査業務が約750万円となります。

● **その他**

・	ニセコビレッジのバス停の長打の列を何とか解消すべき。
⇒	停留所の設置など、関係事業者と協議・検討します。

Q5. 令和９年度宿泊税充当事業（案）について

● **交通課題について**

・	サマーシーズンの空港～ニセコ直行バス運行をして欲しい。
⇒	広域連携事業に発展するため、関係事業者や北海道等とも協議・連携してアクセス改善を検討していきます。

・	週末や連休を中心に運行を実現化に向け検討して欲しい。
・	ニセコ周遊バスについて、夏期の期間中は毎日運行してほしく、冬期は終電への接続を復活させて欲しい。
⇒	令和７年度から実証事業で夏季周遊バスを運行し、令和８年度は日数を増やし、７月18日～８月23日までは毎日運行し、それ以降はシルバーウイーク終了までの土・日・祝のみ運行を実施しています。冬季においても、終電へ接続ができるように検討します。

・	早朝や夜間など、公共交通機関が運行していない時間帯の移動手段を充実させてほしい。特に早朝はタクシーの台数が少なく、宿泊客の出発時に移動手段を確保できるか不安がある。実際に、アンヌプリ地区の当施設の宿泊客がニセコ郵便局前の「本通り」バス停から道南バスでルスツへ向かう際、GOアプリでタクシーが手配できず、自家用車で送ったことがあった（8時頃）。採算性だけでは確保が難しい時間帯について、町がタクシー事業者と協議し、公共交通の空白を補う仕組みを検討してほしい。
⇒	今年度の冬季周遊バスでは、ニセコ駅に７時台に着くJRとの接続を可能とする予定です。今シーズンの成果を踏まえ、次年度以降も利用者が使いやすい移動手段となるようニセコバスと連携・実施していきます。

● **プロモーション・マーケティング・情報発信について**

・	予算的な事は理解したが、結果がバラマキになることなく実施してほしい。特に、イベントに対しては効果のあるものに絞ってほしい。小規模のイベントが増えることで、郊外への人の流れが減っている。SNSも大事だが、TVの露出も増えるように取り組み、ニセコの今を周知していってほしい。
⇒	バラマキにならないよう、本当に必要な事業を絞り込み、そこへの宿泊税充当を検討します。また、周知については、今年度に観光協会がWEB雑誌「旅色」をはじめ、様々な媒体を使って情報発信をしており、TVの露出も含めて、引き続き観光協会と連携しながら情報発信していきます。

・	NPBのリゾートマップには会員施設のみが掲載されているが、町が費用を負担する事業であれば、非会員施設も含めて地域全体を案内できるものにしてほしい。以前のマップでは、建物のイラストなどがなくても非会員施設が掲載されており、現在、ヌックアンヌプリのバス停に掲示されているアンヌプリ周辺のNPBリゾートマップでも会員施設のみが掲載されているため、非会員施設も名称や位置を掲載するなど、地域全体の利便性を高める方法を検討してほしい。
⇒	既存マップへの掲載可否の確認も含め、方法を検討します。

● **人材不足解消について**

・	ニセコバスの運転手確保について、町内で大型二種免許を持つ方が、ニセコバスより賃金条件の良いヒラフの求人を選んだと聞いたことがある。人件費に公費を投入しているのであれば、その支援が実際に運転手の賃金改善や人材確保につながっているのか、検証してほしい。公費による支援が単に事業者の人件費負担を軽減するだけにとどまらず、適切な待遇改善や必要な運行便の維持につながるよう、支援のあり方を見直してほしい。
・	通年での待遇改善が難しい場合でも、需要が集中する冬季に待遇を引き上げた期間限定の運転手を募集するなど、人材確保の方法を検討してほしい。
⇒	町では、ニセコバスの人件費に公費は充てていません。また、待遇改善等については、「ニセコ町人材確保緊急対策モデル事業」にて従業員数に応じて最大200万円の補助を実施しており、交通事業者等の採用活動や福利厚生の充実に活用いただいています。今後も事業者の皆さまからご意見をいただきながら、給与水準の向上など人材確保に向けた支援や対策を検討していきます。

Q6. その他のご意見・ご要望について

● 交通課題・人材不足解消について

・	やはり交通網が少しネックで、夏はレンタカーが多く問題はないが、やはり冬の同じ時間帯にニセコ駅やスキー場に各宿泊施設の送迎車が、まるで集合をかけたように集まり、お客さんを送迎している。これはホント昔からの課題で、どうにかならないかと感じます。 人手も減り続ける日本なので、冬期の送迎体制に当施設は限界が近づいている。ユナイテッドシャトルのようにバスをぐるぐる回して、スキー場間だけではなく、スキー場と宿の間をぐるぐる回すバスが走らせられないか。 全部の宿泊宿を回る事は困難なので、今あるバス停を利用して運行するとか、何かあれば便利だし、施設の人手不足の対策にもなる。 宿泊税ですべて賄うのは難しいので、その施設の規模によって、協賛金を取って良いと思うし、当施設も送迎担当者を雇わなくて良いとなれば、そこにかかっていたはずの人件費分ぐらいは協賛できる。
⇒	貴重なご提案ありがとうございます。 ご提案いただいた内容を含め、利用者も宿泊事業者も相互利益となる事業を関係者と協議・検討します。

● ニセコ町宿泊税活用補助事業について

・	今年のDX補助金を継続して来年度もやっていただけたら、DX化をして省人化・省力化の導入のきっかけになる。
⇒	人材不足等が深刻化する今日において、DX化はまさに省人化・省力化に資する取組と思いますので、次年度以降も継続して実施する予定です。

● 説明会や意見交換会の周知について

・	何度も伝えているが、アンケートの時期に入ってからアンケートのお願いが来たり、予定されているはずの集まりの案内が、ギリギリになってから知らされたりということが続いている。商売柄、急な予定では動くことができないので、遅くてもひと月前にはお知らせいただきたい。
⇒	アンケートについて、郵送してから案内がお手元に届くまでに数日かかるため、案内文が届いたときにアンケートの開始時期に入っている場合がありますのでどうかご理解ください。 また、周知時期について、遅くなってしまい申し訳ありません。次年度以降の案内については、郵送での案内を廃止し、オレンジメール（町のメールマガジン）、町ホームページ、町公式LINE等での案内に変更を予定しております。

● 事業効果の公表について

・	宿泊税を使ってみて、具体的にどんなことに使い、どんな結果があったのか、効果は感じられたのか、課題は何があるのかが資料からは見えてこなかった。数字の資料やアンケートなどで集めるだけではなく、町としての方向性を具体的に示すものがほしい。
⇒	宿泊税活用事業については、町ホームページにて令和６年度の補助実績や活用事例の公表をしています。ただ、令和７年度の実績はまだ掲載できていないため、早急に公表できるよう努めます、また、今後は町としての方向性や効果についても公表できるよう検討します。

● **宿泊税の使途について**

・ 自宅は札幌だが、ニセコのゲストハウスはシャワーのみで、ニセコ滞在期間は温泉へ通っている。うちのゲストハウスはグリーンシーズンは殆どゲストが入らず冬がメインとなり、そのような中で宿泊税の使い道も便利なシステム購入などの必要もないので、それより温泉の割引など頂けたら嬉しい。

⇒ 今後の参考にさせていただきます。

● **宿泊税活用の周知方法について**

・ 「宿泊税活用」のロゴを表示するだけでなく、宿泊税が何に使われ、地域にどのようなメリットをもたらしているのか、もっと分かりやすくアピールしてほしい。例えば、宝くじの収益金を活用した事業のように、宿泊税によって実現していることが一目で分かる広報や掲示を行い、宿泊客や地域住民に宿泊税の意義と使い道を知ってもらう工夫をしてほしい。

⇒ 今後の参考にさせていただきます。

● **その他**

・ 宿泊税の改正条例案が可決された際、議会から意見書(付帯決議)があったはずだが、信頼関係が極めて重要な事業者との意思疎通や情報共有に向けての役場の行動を具体的に説明してほしい。

⇒ 年２回、春と秋に意見交換会とWEBアンケートを実施しているほか、本年においては宿泊税の使途の一つとしてDX化に関する補助制度をテーマとした観光カフェを開催しています。また、使途の決定においては、観光関連事業者や専門家で構成されているニセコ町観光審議会でもお諮りのうえ、次年度予算に向けた予算編成をしています。
今後も、事業者の皆様との意見交換会等の開催や周知を行っていきます。

貴重なご意見ありがとうございました。
その他、ご意見やご質問などございましたら下記までお問合せください。

【問合せ】ニセコ町商工観光課　　Mail： kankou★town.niseko.lg.jp（★を＠に変換）
電 話： 0136-56-8843（平日8:30～17:15）